

葛城市立学校通学路における3観点に該当する危険箇所

当麻小

【3観点】

- A. 見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい箇所、大型車の進入が多い箇所
 B. 過去に事故に至らなくてもヒヤリハット事例があった箇所
 C. 保護者、見守り活動者、地域住民等から市町村への改善要望があった箇所

危険度順位	危険箇所（住所等）	該当観点	具体的内容
1	当麻小学校付近の集約通学路	C	各大字より集約される主要通学路にグリーンベルトが全く設置されていないので早急に対応のもの。
2	山麓線上通学路	A B C	道路植栽が成長し見通しが悪いため、剪定を要望する。車道と歩道を遮る柵がなく危険なため、ガードパイプなどの新設を要望する。剪定の回数を増やすように加えて要望する。
3	ローソン葛城新在家店前	A B C	通学路を示すものや児童の存在に前もって気づくような注意喚起を促すものがないため危険なので、効果的な表示新設を要望する。道路植栽が成長して見通しが悪くなると、ローソンを利用する車両から児童が見えないためガードパイプなどへの設置替えを要望
4	コスモ石油前交差点	A C	多くの車が抜け道として利用しているが、スピードが出やすくカーブになっているので視界が悪く危険な上、通学路と示すものがないため、「減速」「通学路」などの塗装を要望する。
5	J A 駐車場南東交差点	A C	朝の車通りが特に多く、登校時の横断が危険なため、横断歩道の注意喚起路面塗装新設および通行車両の確実な減速措置（バンブ）を要望する。
6	勝根交差点から西に向かって①100m間・②150m地点	A C	①通行車両が多いが、通学路と示すものや横断歩道がないため、道路の横断が危険。 ②通行車両が多いが、通学路と認識されていないため、危険。 通学路と示すものがないため、「減速」「通学路」などの塗装や看板を要望する
7	当麻交番から当麻保育所までの南北道路	A C	香芝御所線の慢性的な通勤渋滞の抜け道であり、登下校児童生徒の安全担保が弱いため、南北の車道にグリーンベルト塗装を要望する。
8	当麻396(株)ショーコーケミ横交差点	A B C	香芝御所線の慢性的な通勤渋滞の抜け道であるため、通り抜け車両と通学途中の児童生徒の接触事故が、過去に発生あり。南北の車道に一時停止とまれの塗装、交差点の路面塗装を要望する。
9	当麻寺北門三叉路	C	当麻寺前の三叉路は見通しが悪く直前まで子供の姿が見えないため、スピードを出している車が多く危険。通学路と示すものがないため、「減速」「通学路」などの塗装や看板を要望する
10	当麻小学校前横断歩道	C	横断歩道の線が薄くなっており、再塗装を要望する。
11	小学校西三叉路道路	A C	広めの道路で車がスピードを出しやすく、登下校時に横断する際危険なため、横断歩道の新設を要望する。
12	当麻北交差点から小学校までの通学路	A C	校区内で唯一、車道外側線すら設置されていない。主要通学路であり児童の安全確保が必要なため、未整備のまま放置せずに早急にグリーンベルト塗装を要望する。
13	今在家公民館付近の道路	B C	道路幅が狭く、通行車両があると側溝側に寄らざる得ず側溝に転落の恐れがあり危険。実際、過去に数名、転落児童あり。
14	染野交差点東側から踏切の間	C	道路と用水路との段差が大きく、落ちた場合に危険。
15	加守交差点・新在家北交差点	C	児童が車道を横断し危険なため、防犯カメラの設置を要望する。
16	加守交差点	C	横断歩道の線が消えかかっているため、再塗装を要望する。
17	当麻804-1小西康友邸北にかかる橋	C	下には大きな川があり、深さもある。通学路になっており渡る際ガードレールも柵もなく大変危険だと感じるので、ガードレールか柵の新設を要望する。
18	当麻156 山口邸前東側	C	現存の「子供の飛び出し注意」の自立式看板は風により水路に落下する上、それを回避するためか道路から見えない向きで設置されているため、子どもの道路への飛び出しが多発している。カーブミラーと道路標示を要望する。